










	書名	頒布価格	装丁	内容例	内容	発行年度
行 田 市 史	続巻	¥3,000	A5判940頁		◇昭和20年8月15日から平成13年3月までの、戦後の行田市の歴史を詳しく解説した通史です。 ◇この期間の基本資料226点を収録。写真175点、図表52点。 ◇1,200項目に及ぶ詳細な年表がついています。	H14
	資料編 古代中世	¥3,500	A5判794頁 別冊「成田記」204頁		◇行田市域の歴史を物語る古墳時代から戦国時代までの古文書や記録類を収録。 ◇独特の言いまわしをもつ古代・中世文献。古文書などについては、読み方を学べるように読み下し文をつけました。 ◇市域の信仰的特徴のひとつである板碑の造立についても、悉皆調査のうえ成果を収録。 ◇小説「のぼうの城」のストーリーのもとになった「成田記」を収録した別冊がついています。	H23
	資料編 近世1	¥3,000	A5判841頁		◇徳川家康の関東入国から、文政6年に阿部家が陸奥国白川に移るまでの期間の古文書・記録類など、345点を収録。 ◇付録として、阿部家時代の忍城図と享保年間の行田町絵図の写真・翻刻図がついています。	H21
	資料編 近世2	¥3,500	A5判942頁 別冊「御分限帳」98頁		◇文政6年の三方領知替えによる松平家の忍城入城から、慶応3年の大政奉還までの期間の古文書・記録類など、413点を収録。 ◇松平家家臣団の分限帳（家臣名簿）を収録した別冊がついています。	H24
	資料編 近代1	¥3,000	A5判666頁		◇慶応3年の大政奉還から、明治45年までの行田市域の歴史にかかわる文書・記録・新聞記事などの資料342点を収録。 ◇付録として、明治6年の忍城解体・売却に際して作成された忍城郭建物絵図の翻刻図がついています。	H17
	資料編 近代2	¥3,000	A5判826頁		◇大正デモクラシーや関東大震災、昭和恐慌、太平洋戦争をはじめ、大正元年から昭和20年8月までの約35年間における行田市域の歴史に関する基本資料621点を収録。 ◇付録として、昭和3年の忍町が刊行した「忍町略図・忍町々勢概要」の複製がついています。	H20
	資料編 民俗資料集1	¥1,500	B5判243頁		◇忍・行田・長野・佐間・星河・星宮・下忍・太井地区の伝統的な社会生活、衣食住、年中行事、人生儀礼、信仰・芸能、交通・交易、生産・生業の姿を記録し、紹介。 ◇写真171点とともに、地域の人々のくらしをわかりやすく解説しています。	H18
	資料編 民俗資料集2	¥1,500	B5判299頁		◇北河原・須加・南河原・荒木・太田・埼玉地区の伝統的な社会生活、衣食住、年中行事、人生儀礼、信仰・芸能、交通・交易、生産・生業の姿を記録し、紹介。 ◇全国に名をはせた行田足袋の、その製造・販売をめぐる地域の姿についても記録・解説しています。	H22
	普及版 行田の民俗	¥2,500	B5判195頁 オールカラー		◇市域の人びとのくらしの様子と変遷を、多くの写真・図版をまじえてやさしく解説した、民俗編の総合版です。 ◇見開き2ページでひとつの話題をとりあげ、内容がわかりやすいように制作しました。 ◇「水とつきあう」の章は、とくにこの地域ならではの生業・生活の姿にスポットをあてています。 ◇自由研究・教材にも最適です。	H25
	普及版 行田の歴史	¥1,500	B5判259頁 オールカラー		◇これまでの市史編さんの成果をふまえて新しく制作した、わかりやすい通史編（歴史解説編）です。 ◇この一冊で、原始・古代から近現代にかけての行田市の歴史を理解できます。 ◇埼玉古墳群、忍城水攻め、阿部家・松平家による治世、足袋産業の興隆等・・・、スポットをあてています。 ◇自由研究・教材にも最適です。	H27
行田市史 考古資料編	¥4,000	B5判559頁 オールカラー		◇行田市域の旧石器時代～中世の主な遺跡とその発掘調査の概要を、多数のカラー写真を用いて、年代順・地区別にわかりやすく紹介。 ◇埼玉古墳群などの著名な遺跡とその出土品だけでなく、未報告の発掘調査の概要・出土品についても多数掲載。 ◇埼玉古墳群、忍城跡など、行田市域の旧石器時代～中世の遺跡とその出土遺物（考古資料）に関する資料集です。	R3	

※郵送の場合は別途郵送料がかかります。